

うりこと字ぶ レポート・論文の書き方

大学生のためのRPG

—Report Playing Guides for University Students—

うりこ
 レベル: 1
 つよさ: 1
 ぶき: ペン

レポート課題が あらわれた!



たたかう
 ▶ アイテム
 にげる

▶ セミナー
 友睦

- 第1回 5月19日 (木) 「論じる」の正体
講師: 藤江雄太郎 (附属図書館)
- 第2回 5月23日 (月) 論理的に書く/考えるという作法
講師: 石川慎一郎先生 (国際コミュニケーションセンター)
- 第3回 5月26日 (木) 論理的なコミュニケーション
講師: 齊藤美穂先生 (国際教育総合センター)
- 第4回 5月30日 (月) 実際に書くための文章構成法
講師: 谷口隆晴先生 (システム情報学研究科)

【会場】国際文化学部A棟1階ラーニングcommons
 【時間】各回とも12:20~13:00 (昼食持ち込み可)
 【募集対象】神戸大学の学生 (教職員も参加可)

大学では新入生の段階から**レポートの提出**を求められる機会が多くなっています。
そこで図書館では、高校までの感想文と大学で求められるレポートの違いに始まり、
大学生に必要なスキルを身につけるための連続セミナーを開催します。
論理を追究し、レポート課題に立ち向かうための第一歩に。

第1回 5月19日（木）：12:20～13:00

「『論じる』の正体」

講師：藤江雄太郎（附属図書館）

概要：「～について論じなさい」の「論じる」って、どうすればいい？感想文とレポートは何が違う？などなど、レポート課題について、疑問に思うけどいまだ人に聞けないあれこれを学びましょう。レポートの出題テーマから、レポート執筆に必要な「問い」を立てるための、ミニワークショップも行います。



第2回 5月23日（月）：12:20～13:00

「論理的に書く／考えるという作法」

講師：石川慎一郎先生（国際コミュニケーションセンター）

概要：本講座では、論理的にアイデアや文章を構成するためのスキルを学びます。身近なテーマでストーリーを考え、それを批判的視点から検証することで、アカデミックライティングに求められるロジカルシンキングの入門を行います。「それって理由になっとう？」「それってえらい飛躍してへん？」などなど、自分のアイデアや文章に自分で「突っ込み」を入れられるようになることが、アカデミックライティングの第1歩です。作文に、プレゼンに、卒論に、学術の世界で共通して求められる必須リテラシーの基礎を学びましょう。



第3回 5月26日（木）：12:20～13:00

「論理的なコミュニケーション」

講師：齊藤美穂先生（国際教育総合センター）

概要：レポートや論文では、問いを立て、それに答えるというある種の「問答」を行います。そして、その過程では論理的な「説明」が求められます。しかしその問答や説明のありかたは、わたしたちの日常生活におけるコミュニケーションとは異なっています。そこで、本講座では、日常のコミュニケーションのありかたを振り返りつつ、論理的なコミュニケーションの基礎として、問いへの答え方や説明のしかたを学びます。



第4回 5月30日（月）：12:20～13:00

「実際に書くための文章構成法」

講師：谷口隆晴先生（システム情報学研究科）

概要：実際にレポートや論文を書くときには、考えたことをどうまとめるか、ということが重要です。レポート・論文の最終的な結論には、いろいろなことを考え、紆余曲折の末にたどり着くことが多いでしょう。考えただけで、結局、役に立たなかったアイデアなどもあるかもしれません。それをそのまま書いてしまえば、読む人を混乱させてしまいますから、うまくまとめる必要があります。本講座では、具体例を通して文章の流れの作り方を学びます。



【申込方法】 libr-svckikaku@office.kobe-u.ac.jpに学籍番号、お名前、参加希望日、ご連絡先をお送りください。

参加申込フォームは [こちら](#)！ ▶

